

## 急性心筋梗塞の治療のために入院経験のある患者さんまたはご家族の方へ (臨床研究に対するご協力をお願い)

岩手医科大学内科学講座循環器内科学分野では、上記の病気で入院された方の診療情報（カルテ情報）及び検査情報を使用して臨床研究を実施いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については細心の注意を払って取扱います。

本研究への参加を望まれない患者さんの診療情報（カルテ情報）及び検査情報は削除し使用しませんので、その旨【問い合わせ先】までご連絡をお願いします。

なお、情報の解析が進んでいくと削除できない場合がありますが、その段階では氏名、生年月日、住所、電話番号の個人情報が削除され、個人が識別できないよう厳重に管理されています。

### 【研究課題名】

末期腎不全と急性心筋梗塞に関する後ろ向き観察研究

(※対象となる患者さんの過去の診療情報のみを用いて行うものを後ろ向き観察研究といいます。)

### 【主任研究者】

岩手医科大学内科学講座 循環器内科分野 講師 石田 大

### 【研究の目的】

心筋梗塞患者さんにおいて、腎不全を合併すると、術後の心筋梗塞再発や心不全により治療成績が悪いことが知られています。そのため、血液をサラサラにする薬剤（抗血小板薬や抗凝固薬）を強化する場合があります。一方で、透析が必要な末期腎不全の患者さんは、様々な要因で出血の事故が多いとされています。そのため、透析患者さんは「血管が詰まりやすく、出血しやすい」といえます。このような患者さん達は適切な薬剤選択が必要なのですが、透析患者さんの心筋梗塞に関する国内データは不足しており、その実態や予後には不明な点が多いです。本研究では、透析患者さんの心筋梗塞後を後ろ向きに登録し、透析施行と死亡および出血合併症との関連性を明らかにすることを目的に研究します。

### 【対象となる方】

平成 24 年 4 月 1 日から平成 29 年 12 月 31 日までに急性心筋梗塞と診断され、入院加療を行った患者様（予定症例数：1,200 例）

**【使用する診療情報】**

年齢、性別、冠危険因子の有無、透析歴の有無、入院日、自覚症状の有無とその詳細 身長、体重、入院時バイタル（血圧、脈拍、体温）、入院時心電図、緊急もしくは待機の心臓カテーテルの所見、経皮的冠動脈形成術の所見とその結果 急性期と慢性期の心エコー所見 採血結果、治療方法、院内死亡、死亡日時、死亡の原因、再発の有無など。

**【研究期間】**

倫理委員会承認日 ～令和 3 年（2021 年）12 月 31 日

**【個人情報の保護】**

利用する情報からは、お名前、ご住所など、患者さんを特定出来る個人情報は削除して使用致します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は公表しません。

**【情報の保管場所】**

本研究で得られた情報は岩手医科大学内科学講座循環器内科 医局で適切に保管されます。

**【研究の資金源ならびに利益相反】**

本研究は岩手医科大学循環器内科講座研究費によって行われます。研究者は本研究に関係する企業等から個人的及び大学組織的な利益を得ておらず、開示すべき利益相反はありません。

**【問い合わせ先】**

〒028-3695 岩手県紫波郡矢巾町医大通 2-1-1

岩手医科大学内科学講座 循環器内科分野

担当医師：石田 大

電話番号：019-613-7111（内線：6415） Fax 番号：019-907-7279